



❶潮の引いた磯。一見何もないように見えて、たくさん生き物が隠れています! 枕崎市❷石の上を歩くアマクサアメフラシ❸触手を伸ばすクロボシアカナマ❹岩の隙間にいたツマジロナガウニ

春は、昼間に大きく潮が引く季節です。海藻観察が大好きな私は、大潮に合わせて磯を訪れます。一見静かな磯には、海藻だけでなく、たくさん生き物たちが隠れています。

大潮の日、最も潮が引く1時間ほど前から、軍手をはめて長靴をはいて、磯に降りてみましょう。海藻の上はすべりやすく、波打ち際に近くには急に深くなる場所があるので要注意です。場所を決めたら、かがんでじっくり、生き物を探します。

何もないと思つたら、石をひつくり返してみましよう。小さい透明なエビやカニたちがササッと動き、隙の石に身を隠すはずです。また、ナマコ



## 磯で見つかる小さな命

今回で生き物通信が終了します。のぞきに行ってみてください。

鹿児島や世界、大きなもの小さなもの、たくさんの生き物たちを紹介してきました。生き物の不思議や、小さいけれど身近にあるさまざまなものに、今後も興味を持ち続けてもらえたうれしいです。(魚類展示係飼育員・堀江諒)

がぴゅーっと水を出したり、小さなウニがくっついていたり…。びっくりさせないよう、見つけたら、水中で静かに観察します。ウニのなかも水管を伸ばし歩き始めます。ナマコも触手を伸ばして、砂を口に運び始めるかもしれません。観察後はひっくり返して石を戻すのを忘れずに! この石の裏も、小さな誰かの大切なすみかです。

水たまりになつた部分では、取り残された小さなハゼや、パートナーを連れて歩くヤドカリ、海藻を食べるウミウシ、触手を伸ばして餌を待つイソギンチャク、光合成するサンゴ…たくさん

の生き物たちが息づいています。ぜひ、のぞきに行ってみてください。